

和光市自治会連合会

自治連わこう

平成22年2月1日

第6号

夜空に輝くイルミネーション



新倉氷川八幡神社だるま市





謹賀新年



和光市自治会連合会
会長 浪間 貞

新年明けましておめでとうございます。
皆様方にはご家族お揃いで新春をお迎
えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は自治会連合会の各事業にご理解あるご協
力を頂き、お礼申し上げます。

さて、自治会連合会では本年度に於いても昨年同
様「住み良い地域」づくりをめざして、四つの重点
目標を掲げて活動を進めているところであります。

特に自治会内の安心・安全をはかる防犯啓発活動
については、行政ならびに他団体と共に活動を進め
てまいります。

また、長い間の懸案であります未加入世帯の加入
促進事業についても昨年同様に進めてまいりますが、
なかなか実績が見えないのが実情であります。理事
会・地区懇談会等で皆様方のご意見を伺いながら進
めてまいりますので更なるご協力を賜りますよう
お願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げ新
年のあいさつといたします。



和光市長
松本 武洋

新年あけましておめでとうございます。
皆様には、輝かしい新春を迎えられ、
謹んでお慶びを申し上げます。

旧年中は市政各般にわたり、ご理解とご協力を賜り、
心より御礼申し上げます。

さて、当市では経済危機などにより市始まって以来
の一時借入を行うなど厳しい財政運営が続いておりま
す。このピンチをチャンスに変えるため「事業仕分け」
をはじめとする行政改革を推進するとともに、新しい
公共のあり方を目指し、市民提案型の事業委託制度の
検討も進んでおります。

今年は駅南口広場の工事が完成し、雨の日も傘を差
さずにバス、タクシーに乗ることができるようになり
ます。また、貴会のご協力もいただき、23年度からの
第四次総合振興計画の策定作業も進んでおります。

和光市制施行四十周年の節目の年を迎え、「快適環
境都市・和光」の実現を念頭に、職員ともども一丸と
なって改革に努める所存でございます。

本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い
申し上げますとともに、貴会のますますのご発展と
皆様方のご多幸をお祈りいたしまして、新年のごあい
さつといたします。

事業計画

平成21年度後期地区懇談会

2月12日(金)から2月18日(木)

- ・ 2月12日(金)新倉南地区 本町地域センター
 - ・ 2月15日(月)白子南地区 総合福祉会館
 - ・ 2月16日(火)下新倉地区 中央公民館
 - ・ 2月17日(水)白子北地区 白子コミュニティセンター
 - ・ 2月18日(木)新倉北地区 北口区画整理事務所
- 時間は、19時から21時

クリーン・オブ和光(ごみゼロ運動)

平成21年度最後の「ごみゼロ運動」を実施します。
まだ、寒さ厳しい日曜日の朝ですが、自治会の皆様の
積極的な参加をお願いいたします。

期日 3月7日(日)雨天のときは3月14日(日)

自治会連合会視察研修報告

研修会報告 白三西牛房自治会長 原田 政雄

自治会連合会では、年に1回の視察研修会が、10月
27日(火)～28日(水)の両日1泊2日で実施されました。

参加者は、自治会長他総勢38名で、バスはほぼ満員
でした。

当日、和光市役所を朝7時30分に出発、寄居町にあ
る埼玉環境整備センター及び彩の国資源循環工場を見
学後、本庄市役所を訪問し、本庄市自治会連合会と2
時間程の意見交換会を行いました。

その後、塙保己一記念館を見学し、宿泊地伊香保温
泉には5時に到着しました。翌日は榛名湖、竹下夢二
記念館を見学。高崎白衣観音参拝と非常にハードな研
修会でした。



今回の研修会の主なテーマは環境問題、特にゴミ処
理についてでしたので、埼玉環境整備センター及び彩
の国資源循環工場についてご報告いたします。

埼玉環境整備センター及び彩の国資源循環工場は埼
玉県大里郡寄居町にあり、環境整備センターは平成2
年に埋め立てが開始された埼玉県の施設で廃棄物処分

地を自ら確保することが出来ない県内市町村や中小企業などのために、廃棄物の広域的埋め立て事業を実施している施設です。総敷地面積97.7ヘクタールで、埋め立て面積26.8ヘクタール東京ドーム5杯分強、埋め立て重量271万トンという巨大な施設です。

また、埋め立て工法としては遊水には2重シートを用い、埋め立てはサンドイッチ工法で、廃棄物を2メートル積んだら、土を50センチメートル積み上げる、これを順次繰り返してゆく埋め立て工法を採用しているとのこと。そして平成19年現在の埋め立て率は47.9%とのことでした。

彩の国資源工場については、全国に先駆けた総合的資源循環モデル施設で、公共的施設に民間の資金やノウハウを活用して民間主導で運営を行うPFI事業として実施している。ここには8社が入居稼働していますが、今回見学したのはオリックス資源循環株式会社と、ウム・ヴェルト・ジャパンの2社でした。

オリックス資源循環株式会社は、受け入れた廃棄物を熱分解ガス化改質方式（廃棄物を1800℃で溶解）により、完全に再資源化し焼却灰や飛灰などが一切発生しない最先端のリサイクルのための施設で、真のゼロエミッションを実現しています。

再資源化物としては、スラグは珪などに使われるブロックや路盤材などの建設資材に、メタルは製鉄材料や銅原料に、金属水酸化物は亜鉛・鉛精錬原料に、ガスは発電燃料に、等々全て再資源化された埋め立て処分場に依存しない廃棄物処理工場です。採算性について説明者に聞いてみますと、若干の黒字とのことでした。

見学に向かう車中で、ゴミ処理施設の見学とは、汚い、臭いを想像していた見学者も清潔で匂いのしない近代的な工場にびっくりの様子。

次に訪問しました株式会社ウム・ヴェルト・ジャパン社は、社名はフランス語だそうで本家本元はフランスにあるそうですが、当社はフランス本社から資金支援を受けていない純然たる日本企業だそうで、蛍光管リサイクルを手がけるこじんまりとした従業員24名の企業でした。

蛍光管内の人体に有害な水銀を回収し、蛍光管ガラスのもつ素材の特性を生かし、より価値のあるガラス製品として循環させるのが目的とのことでした。

ここでは破碎した蛍光管は水銀の分離が困難ですので、処理できないとのこと。割れていない蛍光管のみを処理しています。

工場を見学して驚いたのは、処理量が大変多いのにこれから処理する蛍光管を洗浄槽で1本ずつ手洗いしているとのことでした。汚れたまま破碎処理すると良質のリサイクルガラスが取り出せないからだとのこと。蛍光管を廃却する場合には、ぬれた雑巾等で拭いてから廃却してくれると助かる、とっていました。

この会社では蛍光管のリサイクル率を限りなく100%にしてゆくために欠かせない分別作業を重視し、事前選別、品目別破碎処理、水銀回収、粒度別ガラス選別と工程を細かく区別し、もともと良質なガラスを、よりよい条件で回収することを主として、且つ、口金等の水銀に接していない部分を、水銀にさす前に分別、良質なりサイクルに心がけているとのこと。

リサイクルされたガラス素材はエクステリア資材や



金属製品、アルミ製品、建築資材にと、利用されているとのことでした。

なお、この会社では体験工房もあり、リサイクルガラスで専門家のご指導の下、世界で唯一の自作オリジナル製品を作ることが出来ます。工房の展示棚にはリサイクルガラスで作られた、光輝く置物や花瓶が所狭しと陳列されていました。

今回の環境整備センターと資源循環工場を見学して、焼却埋め立て処分よりもオリックス資源循環工場やウム・ヴェルト・ジャパンのように完全な再資源化を実施しているところがあるので、早く色々問題の多い埋め立て処分を止めたいものである、と感じました。

ちなみに、和光市では可燃物は全て焼却処分されていることは皆さんのご存知の通りですが、その焼却灰がその後どうなっているのか？ ですが、

平成20年は

- 1) 毎月、廃棄される焼却灰の量 平均123トン
- 2) 処分先 委託先
 - ・埼玉ヤマゼン（寄居町彩の国資源循環工場）
 - ・太平洋セメント（熊谷市熊谷工場）
- 3) 処分費用
 - ・埼玉ヤマゼン 焼却灰（人口砂リサイクル用）22,446千円
 - ・太平洋セメント 焼却灰（セメントリサイクル用）6,250千円

以上のように、和光市の焼却灰は委託先で資源化再利用されていますが、今回の研修会では埼玉ヤマゼンは見学することが出来ませんでした。次の機会に出来たりリサイクル製品を是非見たいと思います。

研修会報告

泉台自治会長 本多好太郎

実施日 平成21年10月27日(火)～28日(水)

参加者 38名

27日(火) 第一日目

● 朝7時30分に和光市役所を出発し、寄居町にある埼玉環境整備センター（最終処分場リサイクルセンター）を視察。敷地97.7ヘクタールの中に、埋立面積26.8ヘクタール、埋立重量271万トン。

埋立と安全管理・管理型処分場であり遊水には2重のシートを用い、埋立はサンドイッチ工法を採用し、環境検査を行うなど、万全の体制をとっている。経緯として、昭和48年10月より処分場の確保を決定。平成18年6月彩の国資源循環工場をオープン。

● 本庄市自治会連合会との意見交換会

午後からは本庄市役所を訪れ、赤城山・榛名山・浅間山・妙義山を一望できる6階会議室に案内され、本庄市自治会連合会長らと交えて自治会活動の状況・事業計画等について意見交換会が行われた。本庄市

の人口82,326人、面積89.71km²、自治会加入率は90.01%。自治会連合会交付金（活動費及び運営補助金）は4千3百50万円。他に広報配布料1千2百85万8千円。

28日(木) 第二日目

- 朝9時出発し、榛名湖観光、竹下夢二記念館見学、高崎白衣観音参拝。5時に和光市役所に到着。
- 感想
埼玉県の取り組みとして、川をきれいにしたりと、環境改善に力を注いでいる中で、その一端を担うリ

サイクルセンター視察や、川をきれいにする運動に積極的に取り組んでいる本庄市自治会連合会との意見交換会も、今後の我々の自治会活動において参考にすべき点多々ありました。

2日目に行った、錦秋の榛名湖は見事でしたし、高崎白衣観音もお参りすることが出来ました。今回の研修は、内容も充実していて、大変有意義だったと思います。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

自治会活動報告

白子水門自治会

熊野神社秋祭り 10月3日・4日 会長 尾和 浩

毎年恒例になっている秋祭りに自治会として参加、都会では近隣者のコミュニケーションが少なくなっており、自治会での地域活動が重要となっております。

そんな中で自治会としての祭り参加は大人から子供まで参加することが出来、近隣の交流を深める最高の催しとなっております。近所同志の交流が深まる事によって、防災、防犯にも役立つことと思います。今後も祭りだけでなく、地域の皆さんとより多くの交流がもてる催しを計画し実施して行きたいと思えます。



神輿行列

協和会自治会

協和会夏祭りゲーム大会 7月25日 会長 山田 智好



ビンゴゲーム

協和会では、自治会、婦人会、育てる会、長寿会との協賛により、下新倉水川神社の境内において、夏祭りビンゴゲーム、輪投げ、ボール入れ等を開催しました。ビンゴゲームに対しては年々参加者が多く、今年は1000枚のカードを配布し、それによって当り景品は589点と大変な盛り上がりで皆さん楽しんでいただきました。毎年こうした催しを通して、地域青少年健全育成になり、全体としては人々との交流で楽しく明るい街づくりや防犯、防災等にも役立つものと思えます。さらに子供たちを通して自治会未加入者に自治会加入の勧めにも努めているところです。

編集後記

早いもので、「自治連わこう」の6号を皆様にお届けする時期となりました。10月に行われた自治連の研修テーマである環境問題について、埼玉県環境整備センター・彩の国資源循環工場の視察研修、並びに本庄市自治連合会との意見交換は、大変有意義であったとの意見が、11月27日の理事会で交わされておりました。今後の自治連・各自治会の活動結果に好影響をもたらすと思われまます。

毎年年末が来ると、今年の一年は早かったと、年を重ねるごとに皆さんは思われるのではないのでしょうか。そうなんです。特に今年はめちゃくちゃに短い1年だったと思えます。1月のオ

バマ大統領就任に始まり、市長選、政権交代、景気後退、裁判員制度、新型インフルエンザ、悪質な事件の多発、環境問題等々、世界がまるでジャングルに迷い込んだかのようです。

今年のトラ年は、どんな年になるのでしょうか。皆様に於かれましては、健康に注意され、より良い年でありますようお祈り申し上げます。

編集委員 天野善正(南上町会自治会)

※自治会に対する要望、広報誌への意見・要望など、自治会連合会事務局(和光市総合福祉会館内)へお寄せください。

(☎463-0104)